

健康・医療 × 読売新聞

健康・医療分野における読売新聞の取り組み

「医療の国際化と先端化」～その課題と新聞の役割～

様々な感染症のボーダーレス化が進む中、保健医療の先進国として日本が世界に貢献する意義が問われている。先端医療技術の急速な進歩とともに求められる倫理の確立など、現代の医療が直面する課題と新聞が果たすべき役割について、国立国際医療研究センター理事長 春日雅人氏に話を伺った。

広がる日本の医療分野での国際貢献

南 国立国際医療研究センターは本年（2015年）4月、総合医療機能を持つ国立研究開発法人という新たな独立行政法人となりました。はじめに、センターの掲げる理念をお聞かせください。

春日 “人間の尊厳に基づき医療・研究・教育・国際協力の分野において、わが国と世界の人々の健康と福祉の増進に貢献する”ことを掲げております。

南 名称に「国際」とあるように、国の社会保障としての医療だけではないところが大変独自性の強い点で、それが“わが国と世界の人々”というところに表れているわけですね。

春日 この国際協力という視点には、長い歴史があります。1986年、前身の国立病院医療センターに国際医療協力部ができ、それを基に1993年に国立国際医療センターになりました。歴史的にも、



〈聞き手〉
読売新聞東京本社
取締役調査研究本部長
まさこ
南 砂

医療分野での国際協力が今のセンターのひとつの基盤であると言えます。

南 なるほど、ほぼ30年の蓄積、伝統があるわけですね。“保健医療分野の日本の成功を世界に”というのは、ほんとうに意義のある効果的な国際貢献だと思います。

春日 現在の国際医療協力局では、かつてとは違って医師としてというよりは、むしろ各国の保健担当省などのアドバイザーとして保健政策や医療・病院の安全や質の向上に協力するということが多くなってきています。

理解と共感を深める市民公開講座

南 国立国際医療研究センターは、読売新聞との共催で市民公開講座を開催されています。今年で3回目となるこの催しは理事長の肝入りで始まったということですが。

春日 日本には当センターを含め6つのナショナルセンターがあります。私たちのセンターにはがんや長寿など特定の疾患や時期が名称についていないこともあって、なかなか活動の中身が分かっていたいていないのではないか、という思いがありました。しかし、やはり国民の皆様理解していただいて、さらにはサポートをいただけるような関係性を

築いていくことが必要ではないかと考え、その方策のひとつとして読売新聞の協力を得て市民公開講座を始めました。

南 講座のテーマは1回目の「地球規模で感染症を考える」から始まって、2回目の「医療の国際化」、そして今年、「糖尿病」を取り上げられました。

春日 我々が扱う疾患についても、国際的な対応を特に必要とするかがひとつの基準になってくると思われます。例を挙げれば、感染症、肝炎・免疫疾患、糖尿病代謝性疾患などです。近年では開発途上国においても糖尿病に代表される生活習慣病が増えてきています。

市民公開講座採録特集



2015.7.26 朝刊 全15段

南 市民公開講座を通して、どのような成果や意義を感じておられますか。

春日 成果を客観的に見るということはなかなか難しいことだと思いますが、回を重ねるごとに確実に日本全国の皆様が当センターのことを理解していただいていると確信しています。



国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
理事長 春日 雅人氏

医療の透明化に貢献した新聞

南 読売新聞は他社にさがかけて医療と健康の情報発信に取り組んできたと自負しております。1992年に始まり6,000回を超える「医療ルネサンス」は、他紙にも例のない超長期連載として高い評価をいただいております。長期にわたる医療取材で

培われた先生方との信頼関係、医療健康問題に関する情報の蓄積が、信頼できる情報を発信する“医療の読売”の揺るぎないチカラになっていると感じています。

春日 新聞は日本の医療の透明化にずいぶん貢献されたのではないかと考えています。かつての医療の世界は我々が医療してやっているんだ、黙ってついてこいみたいなところがあって、例えば手術でどれくらいの患者さんが良くなったといった客観的なデータというのは出していなかった。そこをオープンなものにしてきたのは、やはり新聞だと思います。

南 今年で12年目になる企画「病院の実力」を始めた経緯も、まさにそこだと思います。ある学会が絶対に出さなかった数字を、ある時、記者が取材で知った。これは、やはりオープンにすべきじゃないか。リークするのではなく、学会の先生方と一緒に積極的にオープンにしていこう文化をつくっていったほうがいいのではないかと、ということで始めたと聞いております。

先端医療の光と陰。急がれる国民的合意による倫理の確立

南 日本の医療がこれから目指す方向性について、先生はどのように見ておられますか。

春日 ゲノム医療と再生医療が、医療全体を変えるでしょう。DNA配列が意味するものを患者さんの診断とか治療に役立てるという時代が、すぐそこまでやってきていると思います。再生医療も確実に進歩しています。私の専門でいえば、1型糖尿病は膵島移植からiPS細胞やES細胞を膵臓のベータ細胞に分化させる技術を使った移植に移行する可能性があります。

南 今年4月には中国で生殖細胞を対象としたゲノム編集が実施されたと報じられ、関係者に緊迫が走ったと聞きます。先端医療の技術には、生命倫理などさまざまな課題があると思います。

春日 新しい医療をやる場合には、特に倫理面をはじめいろいろな問題があつて、それに対する国民の皆さんの合意を形成しなければならないと思います。そうでないとゲノム医療などは進まないところがあるのではないのでしょうか。

南 それはメディアにも投げかけられた大きな課題だと受け止めています。これからの医療と医学研究にはすべて光と陰の両刃の剣のような部分があつて、非常に難しい課題だと感じています。やはり専門家との協働や信頼関係があつてはじめて、前に進んでいくものではないのでしょうか。

INDEX

巻頭特集

「医療の国際化と先端化」～その課題と新聞の役割～ 2～3

読売新聞の健康・医療への取り組み

- 医療部 ●医療ネットワーク準備室 4
- 朝刊と夕刊の医療関連記事 5
- 医療関連事業 ●ヨミドクター ●病院の実力 6
- メディカルトリビューンとの取り組み 7

読売新聞のメディアパワー

- 販売部数と世帯普及率 ●回読人数と推定読者人数 8
- 読者の健康関心度 ●医療関連データ 9
- 「健康・医療」の情報を「新聞」から入手する割合 ●新聞広告に関する意識 10
- 読売のリソース 11

掲載事例

- 学会、医療団体、医療政策など 12～15
- 疾患・疾病啓発 16～19
- ヘルスケア 20～22
- 企業広告 23

読売新聞の健康・医療への取り組み

読売新聞は、健康・医療分野のニュース報道、特集記事にとどまらず、広告企画やシンポジウム、医療関連出版物の刊行など、全社的に力を注いでいます。これらの取り組みは「医療の読売」として高い評価を頂いています。

医療部

読売新聞は、医療問題を専門に取材する「医療部」があります。読者に有益な医療情報を日々発信しています。



読売新聞東京本社
編集局医療部長
吉田 清久

高齢化に伴い、医療や健康への関心は高いものがあります。しかし、医療の話は専門的で、治療方法について医師から説明を受けてもわかりにくい。医療者と患者の「橋渡し役」が求められました。そこで読売新聞は1992年、連載「医療ルネサンス」を始めました。その基本理念は「心とからだに優しい医療の実現」。以来、一貫して患者の視点を重視し、「わかりやすく役立つ医療情報」の提供に心がけてきました。最新医療や身近な病気の治療や予防方法、共感を呼ぶ闘病記などを掲載しています。連載は2015年2月に通算6000回を超えました。

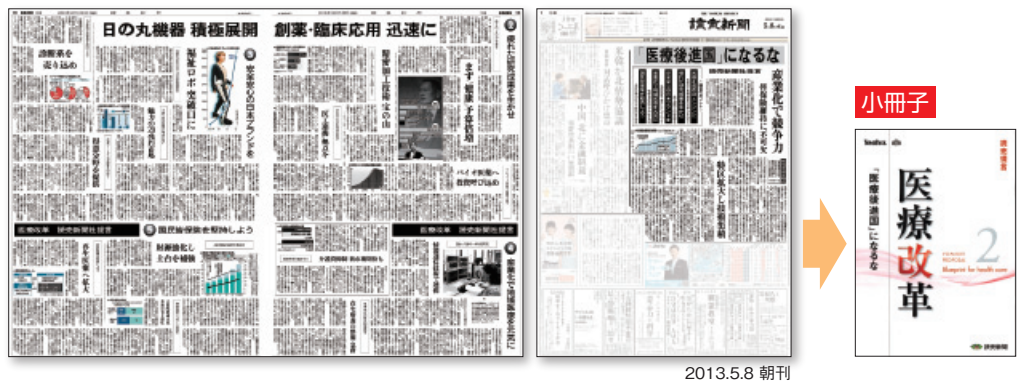
医師不足や病院のたらい回し、増え続ける医療費など日本の医療が直面する様々な問題についても積極的に取り上げ、2度(2008年、2013年)に渡って医療改革提言を行いました。医療技術の高度化などを受け、再生医療や生殖医療、医療の産業化などの取材についても力を入れています。

●読売新聞の医療報道の主な受賞歴

受賞年度	賞	記事	受賞年度	賞	記事
1993	アップジョン医学記事賞(特別賞)	医療ルネサンス	2007	ファイザー医学記事賞(優秀賞)	医療ルネサンス
1994	日本新聞協会賞	医療ルネサンス	2008	ファイザー医学記事賞(大賞)	医療ルネサンス
1996	菊池寛賞	医療ルネサンス	2013	ファイザー医学記事賞(大賞)	「認知症 明日へ」
1998	日本新聞協会賞	「卵子提供受け体外受精「妻以外の女性から」国内初」のスクープ	2014	ファイザー医学記事賞(大賞)	「揺れる命 世界は今」

●医療提言報道

2013年5月8日、未来の日本の医療を考える「提言報道」を実施しました。編集局や論説委員会の専門記者による研究会を発足し、医療改革に関する議論を重ね、5項目からなる提言にまとめました。掲載後、各方面から多くの反響がありました。



医療ネットワーク準備室

2015年2月1日、「医療の読売」の更なる発信力強化のため、「医療ネットワーク準備室」が発足しました。日本人の健康寿命を延ばす一助となれるよう、医療・健康サイト「ヨミドクター」を拠点として、健康関連企業、研究機関や医療関係者と読者をつなぐ活動を目指しています。ほしいと思っていた医療情報、広めたかった健康情報を提供できるように、ウェブや紙面、各種セミナーでご奉仕します。

朝刊と夕刊の医療関連記事

●朝刊／医療ルネサンス(月曜～金曜日)

「心と体に優しい医療の実現」を目指して、健康・医療問題取材班(現 医療部)を中心に、1992年9月に連載を開始し、2015年2月に連載6000回を迎えました。最新の医療情報を患者の視点でわかりやすく伝えてきた本連載は、「日本新聞協会賞」、「菊池寛賞」、「ファイザー医学記事賞」などを受賞しています。

連載
6000
回



2015.6.3 朝刊

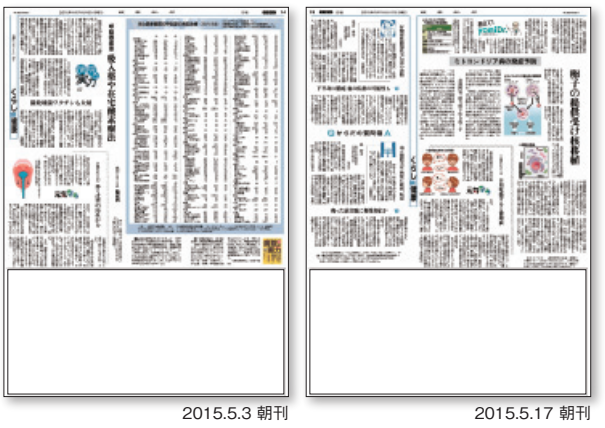
●医療ルネサンスフォーラム

全国各地の読者と実際に医療の問題を考える「医療ルネサンスフォーラム」を毎年数か所で開催しています。本フォーラムは、来場者ばかりでなく、採録紙面も多くの人々から支持されています。コーディネーターは本社記者が務めます。

●開催実績(2014年度)

9月26日	「健康寿命の大敵、骨粗しょう症」 秋田
10月28日	「肺を守ろう～最短命県返上～」 青森
11月18日	「胃腸を健やかに～意外に怖い便秘～」 山梨
11月20日	「口から健康になる」 千葉
12月 2 日	医療ルネサンス6000回記念フォーラム 「超高齢時代の健康学(糖尿病ほか)」 東京

●朝刊／くらし健康(日曜日)

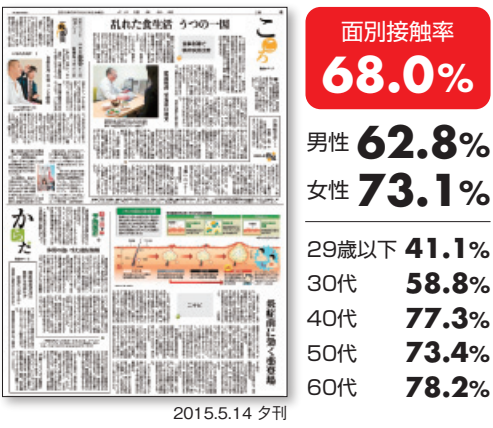


2015.5.3 朝刊

2015.5.17 朝刊

- 〈主な連載コラム〉
- 病院の実力(第1週)
2004年4月にスタートした病院選びの指標を示す人気連載。
 - ケアノート(第2週)
各界で活躍する人の介護体験をインタビュー記事で伝える。
 - 教えて! yomiDr.(ヨミドクター)(第3週)
医療、介護、健康に関わる最新事情を説明。
 - なるほど! 認知症(第4週)
認知症の基礎知識や発症した場合に役に立つ情報を紹介。
 - からだの質問箱(第2～第5週)
読者の医療に関わる相談について専門家が回答。
 - 元気なう(第1、2、3、5週)
日常生活で手軽にできる健康法を紹介。

●夕刊／こころ・からだ(木曜日)



2015.5.14 夕刊

- 〈主な連載コラム〉
- 一病息災
著名人が自身の闘病体験を語る。
 - わたしの医見
読者の医療にまつわる体験、意見を掲載。

医療関連事業

「心に残る医療」体験記コンクール

日本医師会と読売新聞社が主催する作文コンクールで、「より良い医療環境」を構築することを目的に患者さんやそのご家族の体験を綴った作文を募集し、優れた作品を表彰しています。

主催：日本医師会
読売新聞社
後援：厚生労働省



2015.3.7 朝刊 全15段



2015.2.5 朝刊 全15段

「いのち」「生命を見つめる」フォトコンテスト

日本医師会と読売新聞社は生命の尊さ、大切さを考えてほしいとの願いを込め、「生命(いのち)を見つめる」フォトコンテストを開催しています。

主催：日本医師会
読売新聞社

ヨミドクター

読売新聞が運営する医療・介護・健康をテーマとしたWEBマガジンです。症状や体の部位別に検索できる医療記事のアーカイブ「医療大全」や、疾病ごとの手術件数や医師数を独自調査した「病院の実力」など、多数のコンテンツを用意しています。

〈主なコンテンツ〉

医療大全
部位・病院ごとに記事アーカイブから検索できる「読売版医療百科事典」。

病院の実力
全国約10,000病院の手術件数や専門スタッフ数など詳細データを一挙掲載。

ニュース/コラム・ブログ
最新の医療・介護・健康関連の幅広いニュースや医師や医療従事者のコラム・ブログなど“医療の読売”ならではのコンテンツが盛りだくさん。



教えて！yomiDr. (ヨミドクター)
本紙第3日曜日付「くらし健康」面に、医療・介護・健康に関わる最新情報を解説。

●月間総ページビュー数:**336万PV**
(自社調査・2015年5月実績)



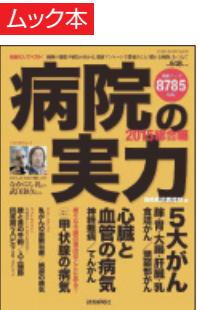
<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/>

病院の実力

本紙第1日曜日付「くらし健康」面に掲載しています。医療機関ごとの治療実績や手術件数などのデータを一覧化し、病院選びに役立つ人気コーナーです。また、本紙に掲載した情報をまとめたムック本を年2回発行し、多くの読者に保存版として活用いただいています。



2015.5.3 朝刊



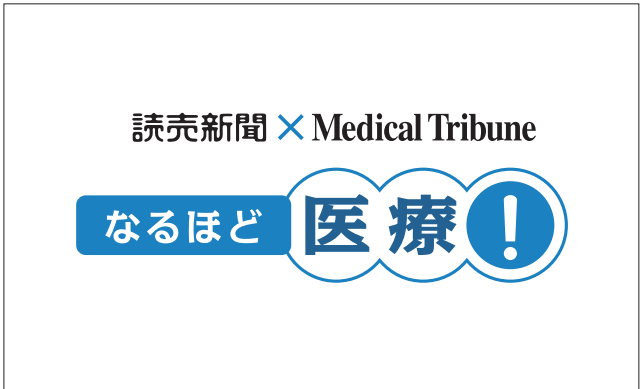
メディカルトリビューンとの取り組み

読売新聞は、2015年度からの新しい取り組みとして、医学専門紙を発行するメディカルトリビューン社と連携した情報発信、企画の実施を推進していくことになりました。

●広告企画の実施

「なるほど医療！」

読売新聞本紙の一般向けの疾病啓発と、メディカルトリビューンと連携した医療関係者向けの情報提供も展開します。



その他にも、同社と連携した公開講座の開催や診療科別、関連学会別などにセグメントしたメーリングサービスなど、ご要望に合わせたプランも用意いたします。

●医療情報サイトの連携

「ヨミドクター」×「あなたの健康百科」

読売新聞の医療情報サイト「ヨミドクター」では、メディカルトリビューン社の「あなたの健康百科」サイトから、健康に役立つ最新医療記事を掲載しています。

▼あなたの健康百科 by メディカルトリビューン



メディカルトリビューン社の医師会員向けサイトでは、読売新聞の医療報道を掲載しています。

Medical Tribune 〈主な刊行物〉

医師向けの週刊医学新聞
「メディカルトリビューン」



1968年にわが国で唯一の国際医学新聞として創刊された総合医学ジャーナルです。国内はもちろん、海外での学会取材による最新医学情報ははじめ、専門医へのインタビュー記事、解説記事など、研究や日常診療に役立つ情報をいち早く報道しています。

発行部数：112,000部 毎週木曜日発行

薬剤師向けの月刊情報誌
「ファーマトリビューン」



2009年1月に創刊された薬剤師向けの専門誌です。「なりたい 薬剤師になる!」をコンセプトに、専門医療、地域医療、セルフケア支援などさまざまな領域で、個々の薬剤師の生涯にわたる職能向上を応援する多様なコンテンツを企画・編集します。

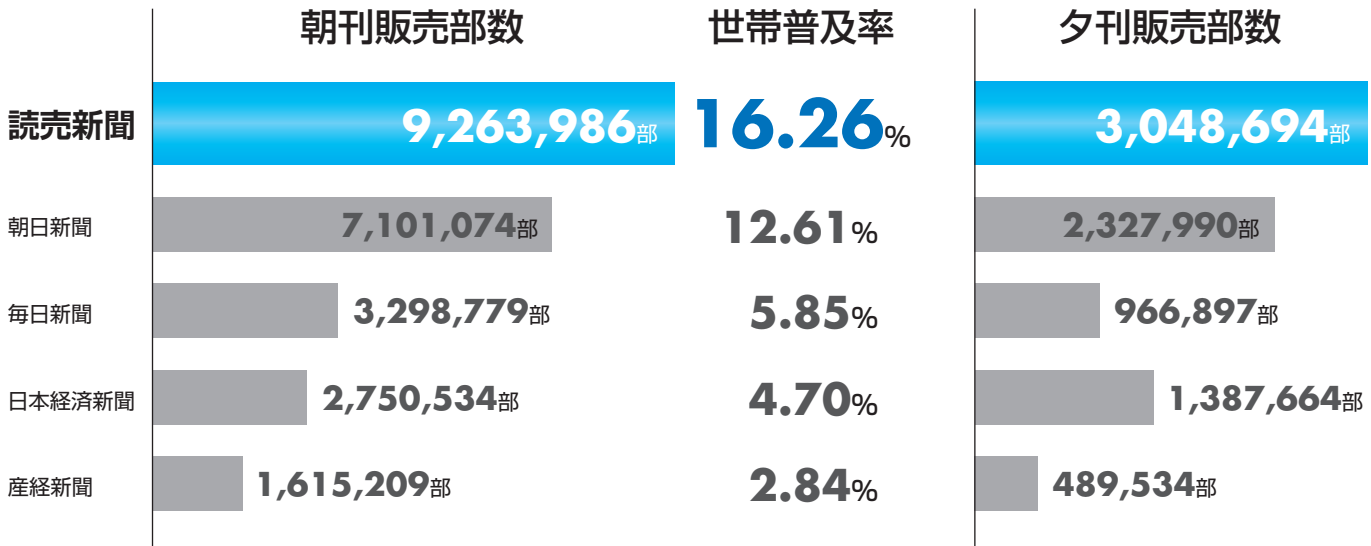
発行部数：65,360部 毎月15日発行

読売新聞のメディアパワー

販売部数と世帯普及率(全国版)

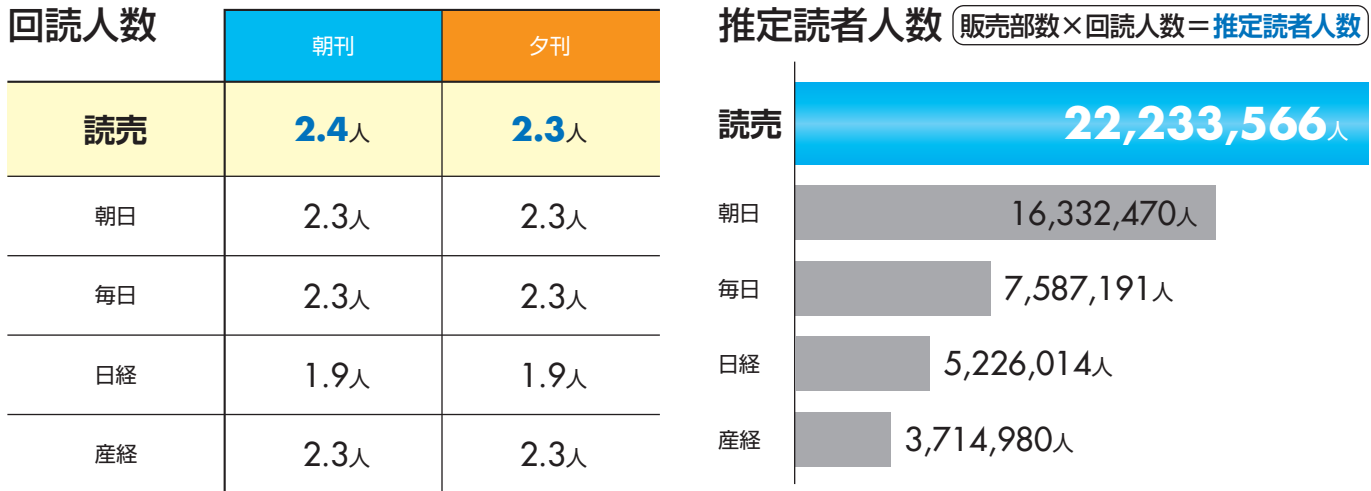


日本ABC協会「新聞社発行レポート 半期・普及率」2014年7月～12月平均 ※朝刊セット部数は、日本ABC協会「新聞社発行レポート 半期」(2014年7月～12月平均)と社内資料から算出



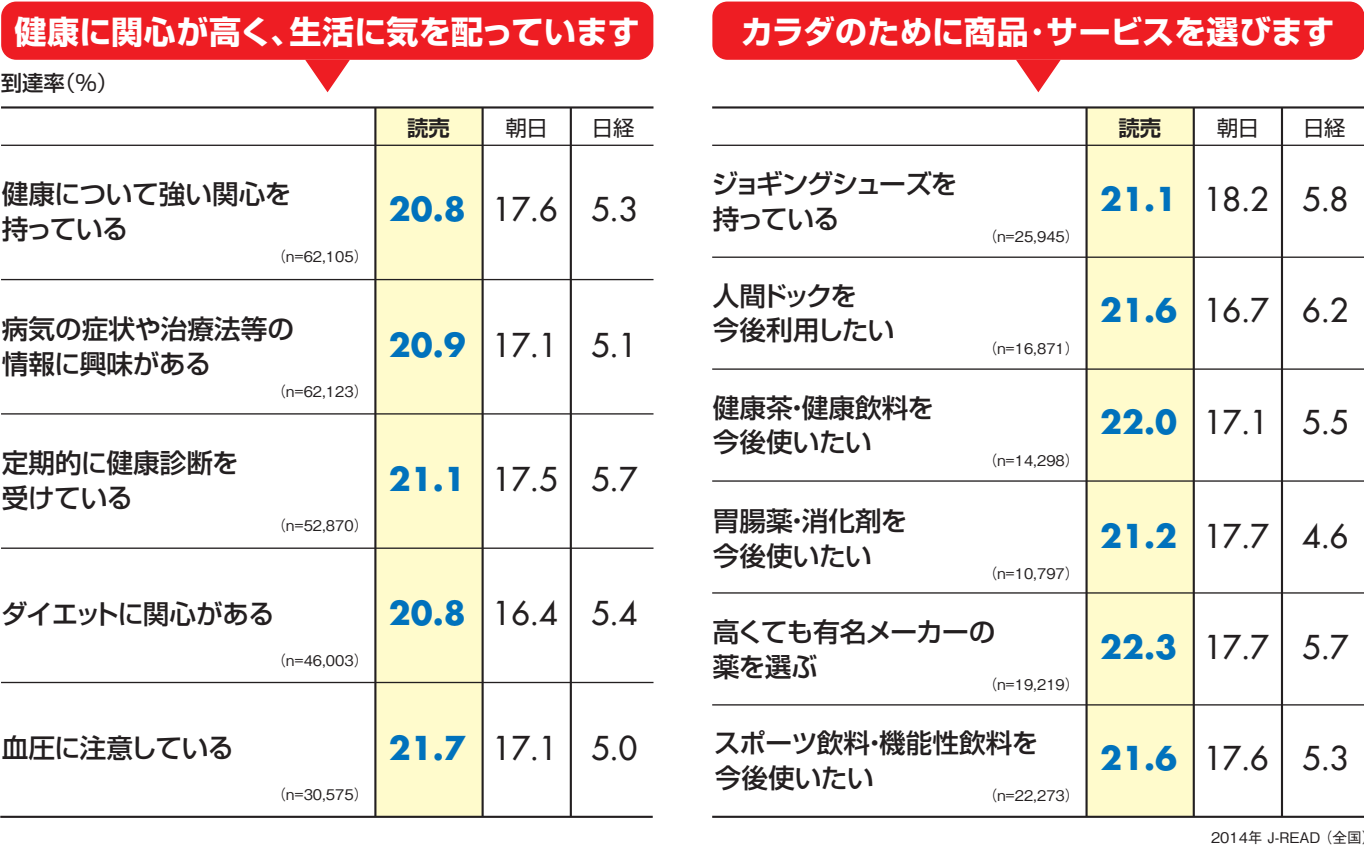
日本ABC協会「新聞社発行レポート 半期・普及率」2014年7月～12月平均

回読人数と推定読者人数



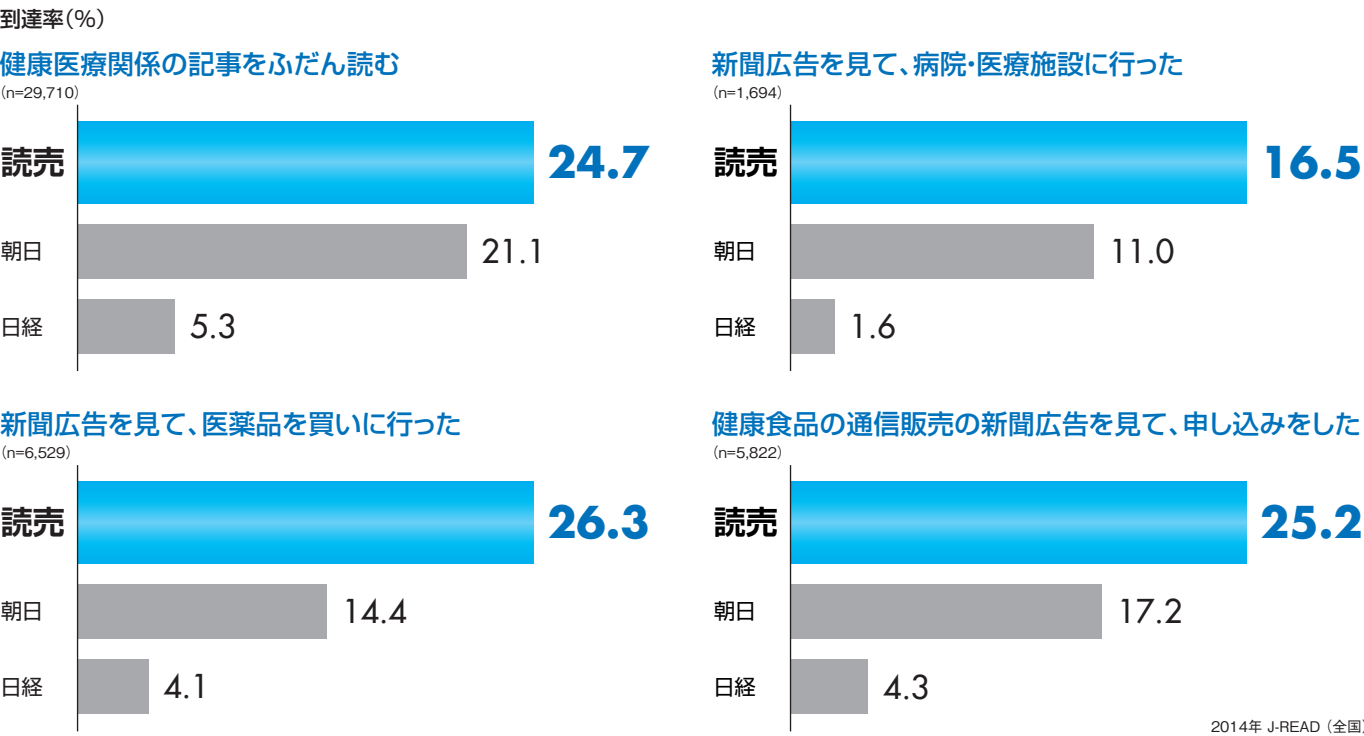
※回読人数：1世帯あたりの新聞回読人数 2014年 J-READ (全国)

読者の健康関心度



2014年 J-READ (全国)

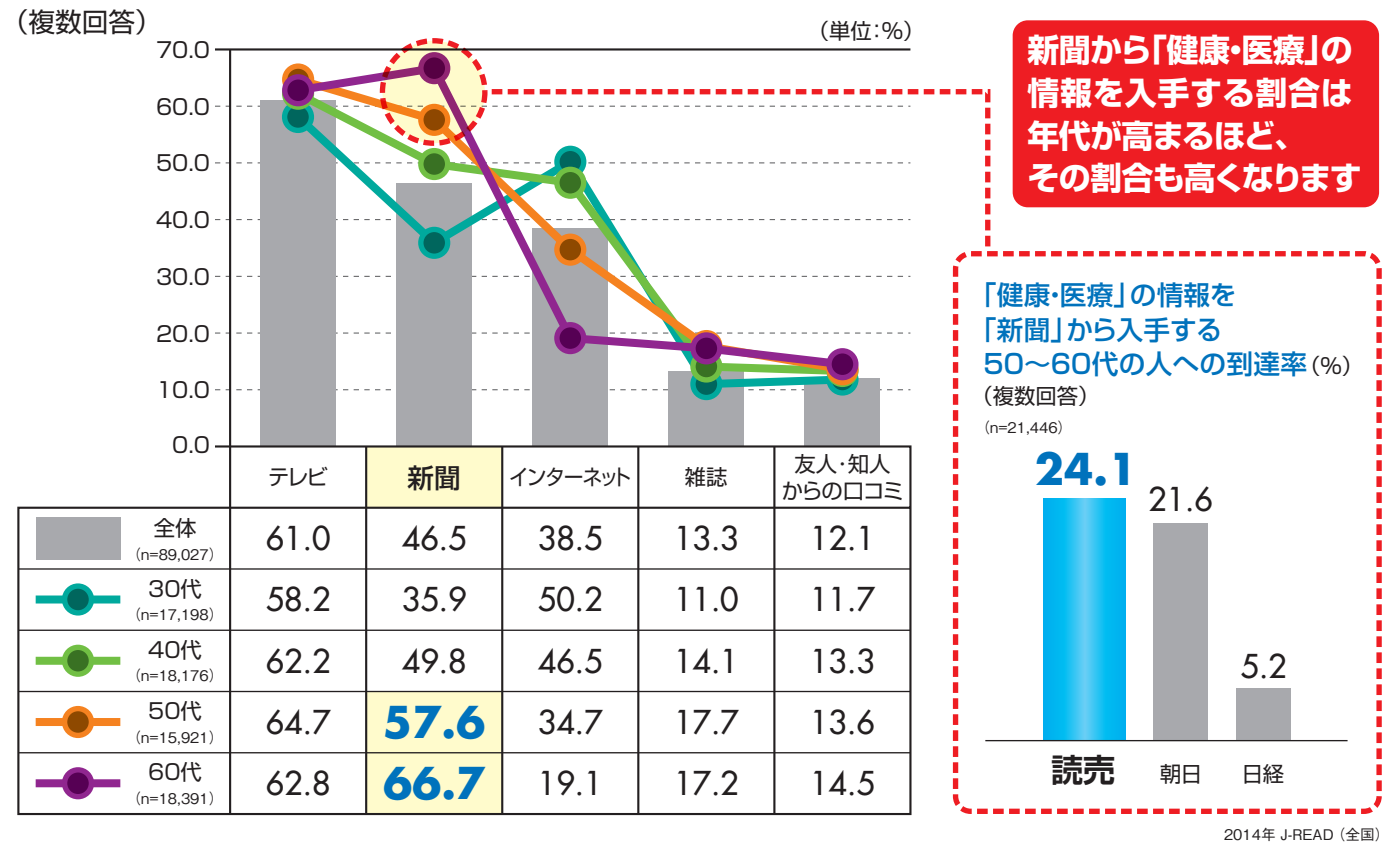
医療関連データ



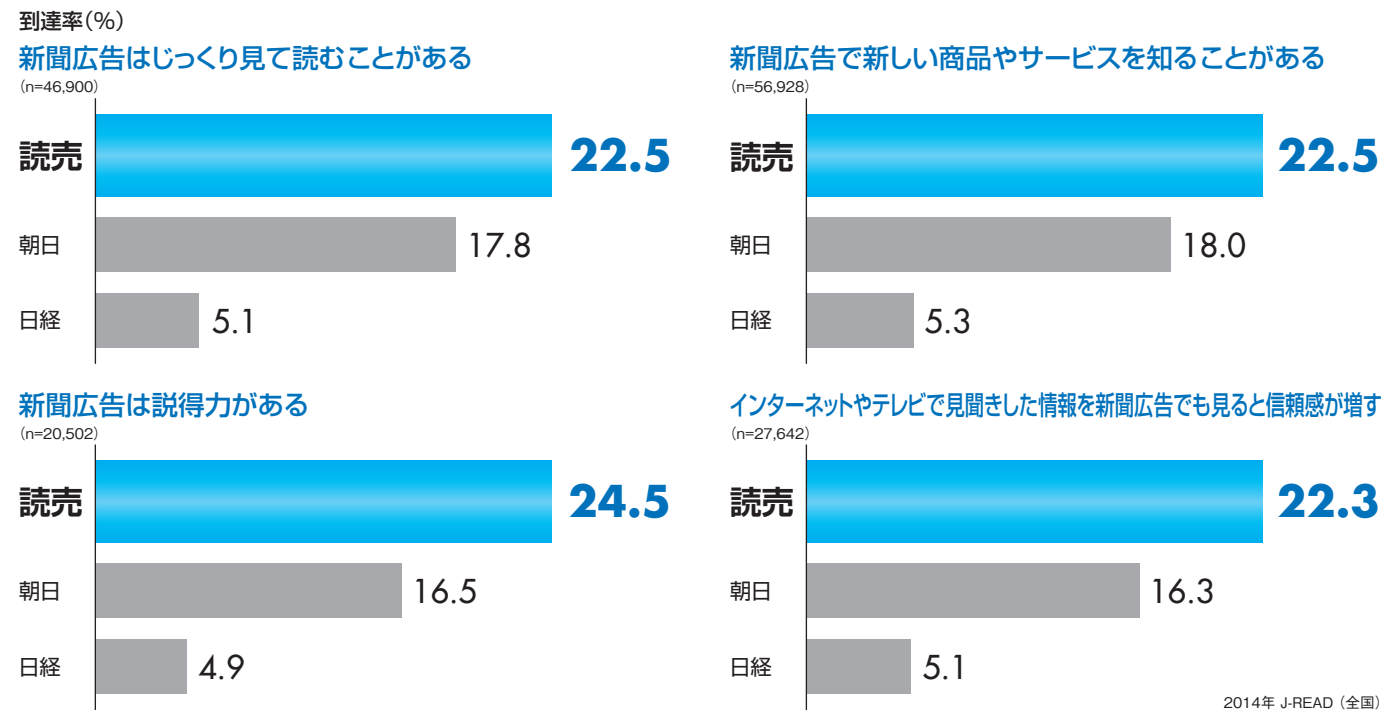
2014年 J-READ (全国)

注：標本サイズ(n数)は各都道府県の15歳～69歳人口に合わせたウェイト集計後の規正標本サイズを表しています。回収数とは異なります。

「健康・医療」の情報を「新聞」から入手する割合



新聞広告に関する意識 (「あてはまる」+「ややあてはまる」)



日本ABC協会「新聞発行社レポート 半期」「同 普及率」●調査方法:新聞発行社会員が提出する新聞部数報告(販売部数)と総務省発表の住民基本台帳人口要覧(世帯数)に基づく ●調査主体:一般社団法人日本ABC協会
2014年全国新聞総合調査(J-READ) ●調査期間:2014年10月19日(日)～10月25日(土) ●調査地域:全国47都道府県の全域 ●調査対象:満15～69歳の男女個人 ●サンプリング:RDD(ランダム・デジッ・ダイヤリング)により調査対象者を抽出し、調査への協力を依頼 ●調査方法:調査の依頼に応諾した対象者へ日記式調査票と付帯調査票を郵送で配布し、郵送で回収 ●有効回収数:全国計28,819 ●調査企画・設計/レーダーヘッド・実査:株式会社ビデオサーチ

読売のリソース

YOMIURI ONLINE 月間約3億ページビューのニュースサイト

- 月間総ページビュー数:
2億9,358万PV
(自社調査・2015年5月実績、以下同じ)
- 1日平均ページビュー数:
947万PV
- TOPページの月間ページビュー数:
4,157万PV
- NEWSカテゴリーの月間ページビュー数:
4,388万PV
- 月間ユニークブラウザ数:
2,609万UB

- TOPページの主要広告メニュー
- レクタングル
 - スーパーバナー
 - TOPテキスト
- NEWS面の広告メニュー
- プレミアムレクタングル
 - NEWSテキスト
- リッチ広告
- ビルボード
 - エントランス



大手小町 日本最大級の女性系サイト

- 月間総ページビュー数:
1億7,097万PV
(自社調査・2015年5月実績、以下同じ)
- 月間ユニークブラウザ数:
1,424万UB
- 主なコンテンツ:
掲示板「発言小町」のほか、旬の話題をチェックできるファッション・美容関連のニュースや、子育て、料理、健康、恋愛にまつわるコラムなどが充実

- 主要な広告メニュー
- 大手小町レクタングル
 - 小町セレクション



- 発言小町PRトピ
- PRトピの特徴
荒れない人気掲示板「発言小町」を利用した企画展開が可能。広告主の公式トピを編集部が立て、ユーザーとのコミュニケーションを図る。希望のテーマに沿った意見募集が可能
- ① 意見を募集
 - ② タイアップページ内でも紹介
 - ③ 新聞広告とも連動

中央公論新社

- 中央公論
- 婦人公論
- カスタム出版
 - 広報・PRを目的とした出版物の一括受諾
 - 編集制作から、印刷製本、販売まで
 - 中央公論新社ブランド、読売グループならではの展開が可能
 - 全国書店とのネットワークを使った販売網を利用

読売・日本テレビ文化センター (愛称:よみうりカルチャー)

荻窪、恵比寿、錦糸町、北千住、金町、町屋、八王子、大森、川崎、横浜、京葉、柏、浦和、川口、大宮、宇都宮(以上16センターは直営) 町田、自由が丘、川越(以上3センターはフランチャイズ)

- 協賛講座(健康関連などの実績あり)、サンプリング、ブース設置が可能
- 季刊誌「よみカル」(2月、5月、8月、11月発行)



BS日本

- 開局:2000年
- チャンネル:BSデジタル放送4ch

深層NEWS
BS日テレ・日テレ・読売新聞がタッグ、本格報道番組(月～金 22時～23時) テーマ例:被災地医療の現状と課題 救急医療現場の危機 等



プランタン銀座 マロニエゲート



- タイアップイベント**(プランタン銀座/マロニエゲート)
店舗や施設を利用したタイアップイベントが可能。読売新聞で告知すると効果的(プランタン銀座/マロニエゲート)
- 壁面大幕広告**(プランタン銀座)
- 正面入り口でのイベント**(プランタン銀座)

掲載事例

学会、医療団体、医療政策など

学会や医療団体と連携して、さまざまなシンポジウム、紙面企画を実施しています。
医療関係者にとどまらず、全国の幅広い読者に広く情報発信しています。

日本再生医療学会 公開フォーラム

2014年9月、「再生医療で患者を救う」と題した公開フォーラムを本社共催で開催しました。
iPS細胞を用いた世界初の臨床研究が国内で始まり再生医療への関心が高まる中、臨床の最前線や産業化に向けた取り組みが紹介され、会場に詰めかけた約1,100人の聴衆が熱心に耳を傾けました。

告知



2014.8.17 朝刊 全5段



採録



2014.10.27 朝刊 全30段

日本医学会総会 関連特集

日本医学会は国大最大の医学系の学会で、総会は4年に一度開かれます。
2015年3月から4月にかけて、関西3都市で開催された第29回日本医学会総会、一般市民向けの公開講座、展示会などの特集を計3回実施しました。



2015.3.27 朝刊 全30段



2015.4.3 朝刊 全30段



2015.3.20 別刷り4ページ (フロントページ)

日本整形外科学会 ロコモ啓発企画

運動器障害のために移動機能の低下をきたした「ロコモティブシンドローム(略称:ロコモ)」に関する企画広告です。日本整形外科学会の理事長、副理事長にロコモの定義、それに伴うしびれと痛みについて話を伺い、予防の重要性について伝えました。



2014.10.19 朝刊 全15段

日本癌学会 市民公開講座

2014年9月、横浜で開かれた第24回市民公開講座「がんを知り、がんを知る」の様態を採録しました。日本人の死因第一位であるがんの発生のメカニズムや最新の治療法を学会医師がわかりやすく解説しました。



2015.2.21 朝刊 全15段

日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞

認知症の医療や介護に功績のあった人や団体に贈られる「日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞」(主催:日本認知症ケア学会、特別後援:読売新聞社、協賛:エーザイ)は、2004年に創設され、11回目の実施となりました。
専門家による鼎談を採録した募集告知特集、受賞者の横顔をまとめた特集掲載などを通じて、啓発を行っています。

告知特集



2014.9.21 朝刊 全15段

受賞者特集



2015.6.21 朝刊 全15段

日本リウマチ学会総会・学術集会

日本リウマチ学会が年に一回実施している総会・学術集会に付随した市民公開講座の採録特集です。「関節リウマチの治療」をテーマに、本紙で告知広告、採録特集を掲載しました。当日は1,700人の来場者があり、リウマチ治療への関心の高さが伺えました。

告知



2014.3.8 夕刊 半5段

採録



2014.5.24 朝刊 全15段

日本看護協会 復興フォーラム2014

東日本大震災支援事業・復興フォーラム「被災地の看護は、いま」を本社共催で開催しました。被災地の支援活動を精力的に行っているお笑いコンビ「サンドウィッチマン」によるトークショー、現地で働く看護職によるリレートークが行われ、看護が果たすべき役割や新たな可能性を発信する機会となりました。



2014.3.11 朝刊 全30段



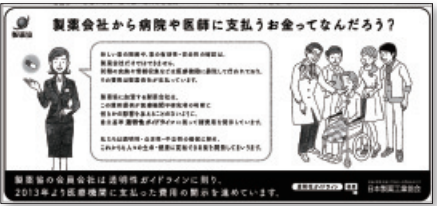
2014.11.21 朝刊 全15段

日本看護協会 映画『救いたい』公開記念企画

東日本大震災の被災地を舞台にした映画「救いたい」で、看護師役を演じた女優・中越典子さんと日本看護協会・坂本すがが会長が「看護の力と可能性」をテーマに対談しました。その他、実際に被災地で働く看護師のインタビューも掲載。看護職の魅力を伝えました。

日本製薬工業協会

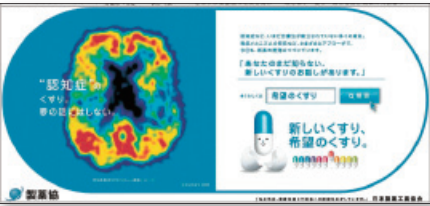
生活者や患者さん向けに、新薬開発に関わる費用を公開する透明性ガイドラインや製薬産業の理解促進を狙いとした広告を掲載しました。



2014.8.25～31 朝刊 全5段(7日間連続掲載)



2014.11.5 朝刊 全5段



2014.12.10 朝刊 全5段



2015.1.7 朝刊 全5段

医師主導治験 TTP (血栓性血小板減少性紫斑病)

研究代表者：埼玉医科大学 総合診療内科 宮川義隆教授



2014.10.19 朝刊 全30段

医師が個人の責任において、臨床試験によって薬の有効性と安全性のデータを集め、国内での薬の承認につなげる医師主導治験の広告です。

受動喫煙座談会企画

喫煙による健康への影響は、社会にとって、大きな課題の一つ。受動喫煙防止にどう取り組むべきかについて、行政と医療業界、それぞれの立場の代表が、健康的な社会の将来像のあり方について意見を交換しました。

ファイザー



2014.11.25 朝刊 全15段

疾患・疾病啓発

疾患・疾病啓発広告は、病気や予防・治療について、広く生活者に理解を深めてもらうことができます。幅広い読者に研究の取り組みや企業姿勢も効果的に訴求することができます。

●ロコモティブシンドローム（運動器症候群）

読売ロコモチャレンジプロジェクト

読売新聞は「ロコモチャレンジ！ 推進協議会」のサポート企業として、正しい情報発信と予防啓発を行っています。その一環として、協議会と共催で「ロコモ予防フォーラム」を開催しています。2015年3月に行われた第二回のフォーラムでは、日本医学会総会の一般公開展示とタイアップして実施しました。その他、ロコモをテーマにした紙面企画を多数実施しています。

▼ロコモ予防フォーラム

採録



2015.4.19 朝刊

採録



2015.4.20 朝刊

主催：読売新聞社
共催：ロコモチャレンジ！ 推進協議会
後援：日本整形外科学会
協賛：味の素、大塚製薬、科研製薬、生化学工業、中外製薬、ファイザー、ワタミフードシステムズ

ファイザー/エーザイ



2015.4.4 朝刊 全15段

▼「変形性ひざ関節症」タ刊3回シリーズ広告



2015.2.26 夕刊 全7段



2015.3.5 夕刊 全7段



2015.3.12 夕刊 全7段

●がん

フォーラム がんと生きる

NHK厚生文化事業団、NHKエンタープライズとの共催で、最新医療情報や支援のあり方等、医師や看護師、がん当事者が、それぞれの経験、立場から語り合う市民向けフォーラムを全国各地で開催しています。

ツムラ

告知



2015.3.31 朝刊 全5段

採録



2015.5.23 朝刊 全15段

●心臓病

心臓リハビリテーション学会



2014.4.29 朝刊 全15段

学会創設20周年にあわせた記念特集を掲載しました。「心臓リハビリ」をわかりやすく解説し、心臓病を患った患者さんと家族に温かいメッセージを発信しました。特集内には記念となる市民公開講座の告知も掲載。多数の応募がありました。

第一三共



2014.10.26 朝刊 全15段

●リウマチ

市民公開講座

リウマチへの理解を深めてもらうため、最新の治療情報などを紹介する市民公開講座「リウマチ治療の未来予想図」を本社主催で実施。後日紙面で採録特集として掲載し、リウマチ疾患に悩む方はもちろん多くの方々に向けて発信しました。

日本化薬



2015.4.11 朝刊 全15段

●骨粗しょう症

健考カルテ企画

各回、専門医が登場し、テーマごとに予防意識や疾患に関する知識などを、読者に対してわかりやすく解説するシリーズ企画です。

●糖尿病

世界糖尿病デー企画

「世界糖尿病デー」の11月14日に、糖尿病の啓発のために日本を代表する専門家の方々に糖尿病についての最新情報を語っていただきました。本紙掲載のほか、PR号外を発行し、都内5か所に加え、全国の都道府県糖尿病協会を通じて各地で広く配布しました。



2014.11.14 朝刊 全30段

PR号外



2014.11.14 PR号外

●骨粗しょう症

読売・日本テレビ文化センター健康公開講座

告知



2015.1.22 朝刊 全5段

Web 採録



よみカル 採録



採録



2015.3.25 夕刊 全15段

●歯周病

口腔保健シンポジウム

告知



2015.6.17 朝刊 全2段

採録



2015.7.25 朝刊 全30段

●認知症

未来貢献プロジェクト 医療・健康シンポジウム

活力のある日本を作り上げていく道筋を考える「未来貢献プロジェクト」の一環で、認知症のシンポジウムを開催。「明るい長寿社会を考える」をテーマに有識者が語り合いました。

告知



2014.9.14 朝刊 全5段

採録



2014.11.29 朝刊 全15段

ヘルスケア

読売 はあとふるサロン

救心製薬



2014.8.29 朝刊 全5段



「腸の健康」連載企画

腸内環境改善に有効なガセリ菌SP株の働きをシリーズの記事体広告で紹介し、健康習慣のひとつとしてヨーグルトを取り入れた食生活を訴求しました。

雪印メグミルク



2014.6.22 朝刊 6段1/3



2014.6.29 朝刊 6段1/3



2014.7.6 朝刊 6段1/3



腸から健康セミナー

ゼスプリ インターナショナル ジャパン

告知



2015.5.17 朝刊 全15段

採録



2015.7.12 朝刊 全15段

「Happy Aging」シリーズ企画

大塚製薬



2015.3.17 朝刊 全5段



2015.3.24 朝刊 全5段



2015.3.31 朝刊 全5段

夏の健康特集

夕刊マルチ広告 同じ日に複数箇所にわたり広告を掲載しました。

太田胃散／救心製薬／協和発酵バイオ／興和／再春館製薬所／大正製薬／日本予防医薬／龍角散／わかもと製薬



2014.8.9 夕刊

セルフメディケーション企画 (丸の内キッズジャンボリー)

「親子で学ぶセルフメディケーション」をテーマに専門家が語り合いました。
多くの親子が参加した「丸の内キッズジャンボリー」の来場者の声も紹介しました。

日本OTC医薬品協会



2014.10.29 朝刊 全15段

胃腸ケアの知恵

消費情報をわかりやすく伝える経済紙面「家計の知恵」をモチーフに、胃腸ケアの秘訣などを専門家のコメントとともに紹介しました。

養命酒製造



2015.5.23 朝刊 全15段

企業廣告

中外製藥



2014.12.1 朝刊 全30段

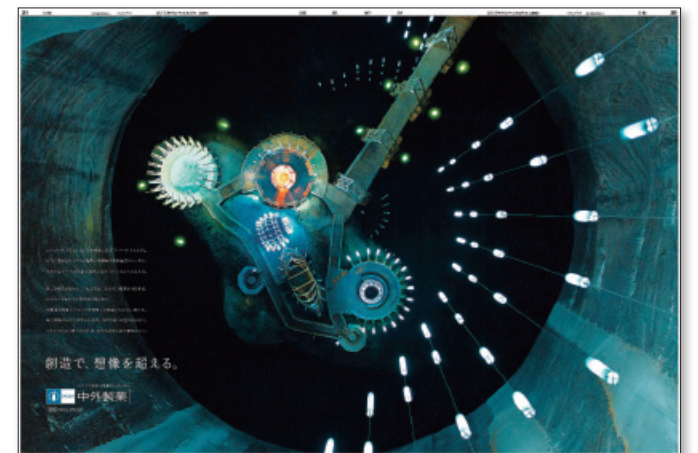


2014.12.28 朝刊 全30段

龍角散



2015.5.8 朝刊 全15段



2015.2.27 朝刊 全30段

テルモ



2015.3.9 朝刊 全15段

富士薬品



2014.4.27 朝刊 全15段

発行：読売新聞東京本社広告局
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
Tel：03-3242-1111(大代表)
発行月：2015年8月

●健康・医療に関する広告のお問い合わせは

東京本社広告局広告第一部第二課
Tel：03-3216-8741

北海道支社広告部
Tel：011-222-5825

東京本社広告局広告第七部北陸営業統括
Tel：0766-26-6861

中部支社広告部広告課
Tel：052-211-0054

大阪本社広告局広告第一部
Tel：06-6366-1723

西部本社広告局広告第一部第一課
Tel：092-715-5847